



和光市社会教育委員会議

議長 久米 隼 様

次の事項について、別紙理由を添えて諮問します。

令和3年7月28日

和光市教育委員会

教育長 大久保 昭男



諮 問

「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会
教育の役割について」

(理 由)

昨今の急激な少子高齢化やグローバル化の進展に伴う激しく変化する社会環境の中で、地域においては地域社会の支え合いの希薄化、教育力の低下、あるいは家庭の孤立化などの課題が指摘されている。学校においては、いじめや不登校、貧困など子供を取り巻く問題が一層複雑化・困難化しており、教育改革、地方創生等の観点からも社会総がかりで対応することが求められている。このような社会状況の中で、豊かな地域教育の創造を推進していくためには、学校・家庭・地域における新しいつながりの在り方について、行政と市民が円滑に連携・協働を推進していく組織的・継続的な仕組みづくりが必要不可欠となっている。

和光市では、これまでも各地域の青少年を健やかに育成する取り組みとして、自治会、青少年健全育成市民会議、育てる会や青少年育成推進員などの活動を中心に、各団体・機関との連携による地域ぐるみの活動に取り組まれてきているが、地域連携や活動の広がりには難しさがみられる。また、コミュニティ・スクールの推進においても、平成30年度より全市指定をして取り組まれているが、市民への調査結果では、保護者・地域住民のコミュニティ・スクールに対する認知度は高くはないことから、連携・協働体制の確立と機能性と効果的な活動を推進していくことが喫緊の課題となっている。

今後、地域コミュニティの再構築、地域教育力の活性化に向けて社会教育の果たす役割はたいへん重要であると考えます。

以上のことから、「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」諮問する。